



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/32号 2021/1/26

◆発表会に向けてラストスパート

1月29日（金）は2年生の課題探究中間発表会です。修学旅行の日程が変更になり1月の探究活動が難しかった中、放課後や土日の時間を利用しながら準備を進めてきました。中間発表ということもあり、まだまだ不十分なところも多く見受けられますが、班内で話し合い、工夫を重ねながら取り組んできました。密を避けることを優先した結果、保護者に見ていただくことができないのが残念ですが、スナップ写真をホームページに掲載しますので是非御覧ください。

1年生は3月5日（金）にミニ課題探究発表会を行います。生徒たちにとっては自分たちでテーマを見つけて取り組む初めての探究活動で試行錯誤の連続でしたが、その経験は今後に大いに役立つことと思います。「先輩を追い越す」を合言葉に頑張りたいと思います。



◆課題発見セミナー（2年家政科）

1月22日（金）に「企業課題の解決策を考えよう」というテーマで、課題発見セミナーを実施しました。講師は山口大学の陳内秀樹先生です。あいにくZoomによるオンライン講義でしたが、対面となんら変わらない非常に充実したセミナーとすることができました。

前半のテーマは企業課題の解決について、どのような手順で考えていくとよいかということ講義していただきました。後半は知的財産権についての講義で、身近な例を取り上げながら、1つ1つ丁寧に説明していただきました。最初はどこに知的財産があるのか見えなかった普通にある風景写真が、講義の最後には知的財産の山として見るようになることができました。

このセミナーを通じて「課題解決のためのアイデアを形にする方法」や「知的財産権についての理解の大切さ」など、多くのことを学びました。3年次の家庭科「課題研究」でテーマを設定したり、その成果を公開するときに大いに役立つことと思います。



◆奈良女大サイエンスコロキウムにて発表

12月26日（土）、標記コロキウムに本校数理探究科女子7名（3班）が参加しました。これは「研究をともに作っていこう」をテーマに、理系の女子生徒をメインにした研究発表とワークショップの2部構成です。生徒同士および大学研究者と一緒に議論することで、研究がより良い方向に向かうにはどうすればよいかをともに探っていくことを目的としたものです。

参加した生徒は初めての対外発表、しかもZoomということでもかなり緊張したようでしたが、徐々に硬さもとれ、日頃の探究の成果をきちんと伝えることができました。また、他校の生徒とのディスカッションを通じ、今後の取組についてのヒントを多く得ることができました。

オオキンケイギクの生態	芝原 万智、松崎 美海、立石 有気
多良山系の河川中に含まれる塩化物イオンについて	青木 嘉志乃、古賀 千尋
温度変化による卓球ラバーの反発係数の違い	林田 彩夏、木村 友紀



◆積極的に外部発表する大高生その2

「落ち葉の秘密～なぜ落ち葉は裏向きが多いのか」の研究で文部科学大臣賞を受賞した本村 かなさん（理科部2年）が研究の成果と探究過程についての発表を長崎県教育センターで所員の先生方の前で行いました。先生方からは、着眼点や研究の進め方およびプレゼンテーションについてお褒めの言葉をいただきました。また今後の研究についてのアドバイスも多数いただきました。これからの研究に活かしていくことと思います。

また、WWL・SGH×探究甲子園の探究活動プレゼンテーションにエントリーしていた河原 正堂さん、太田 誠也さん（ともに理科部2年）の班は見事1次審査を通過し、全国30チームによる本大会への出場を決めました。本大会は3月21日（日）にオンラインで行われます。本大会での活躍が期待されます。

